

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和6年3月定例会	
議案番号 議案名	<p>議案第64号 令和6年度松戸市一般会計予算 議案第65号 令和6年度松戸市国民健康保険特別会計予算 議案第66号 令和6年度松戸市松戸競輪特別会計予算 議案第69号 令和6年度松戸市介護保険特別会計予算 議案第70号 令和6年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算 議案第71号 令和6年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算 議案第72号 令和6年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計予算 議案第74号 令和6年度松戸市病院事業会計予算</p>
議員名・会派名等	市民クラブ
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>過日開催されました予算審査特別委員会において審査された議案第64号、令和6年度松戸市一般会計予算から議案第75号、令和6年度松戸市下水道事業会計予算まで、会派・市民クラブを代表し、ただいまの委員長報告のとおり、賛成の立場で討論させていただきます。</p> <p>令和6年度は新型コロナという未曾有の感染症を乗り越え、市民の日常活動が正常化、日経平均株価はバブル期につけた史上最高値を更新しつつも、国際紛争の長期化による資源価格の高騰、インフレ圧力など外的要因により、市政運営において難しいかじ取りを求められることが想定されます。</p> <p>また、近年激甚化する災害に対して、基礎自治体としての対策をさらに求められている状況でもあります。</p> <p>さて、歳入では根幹をなす市税は、国の定額減税実施の影響により個人市民税が減額となるため、予算額は712億500万円となることが見込まれています。</p> <p>歳出におきましては、保育園等の運営支援、障害児者の支援などの経費、国の制度に基づく低所得者への給付金事業の実施や児童手当の拡充の対応など、社会保障費の増加、未来への投資としての新拠点ゾーンや新松戸駅東側地区のまちづくり、学校給食運営やスポーツ施設・体育館の空調設備の整備などの事業も行う中、足元の物価高の影響により、経常的経費の比率が高く、依然として財政運営の自由度は決して高い状況でないものと推察されま</p>

す。

こうした中、先の代表質問で述べましたように、地域コミュニティの希薄化や社会構造の変化などを要因とした、孤立や社会的孤独が増加し、地域における自助・共助の力が低下し、それを補完的に補う「地域共生」にその解決をゆだねざるを得ない状況となっております。

そして、今回の予算審査においては、その「地域共生施策」が本当に自助や共助を促進し、補完的に支援する予算になっているのか。財政運営の自由度が決して高い状況でないからこそ、より慎重に判断し、明確な価値基準を持って施策を展開する必要があるという我々の価値観を前提に、個々の質疑を展開させていただきました。

以下、討論時間の制約上、取り上げたテーマの一部となりますが、賛成の理由と指摘事項を述べてまいります。

総務費につきましては、子育て世帯向けに運用している松戸市公式LINEアカウントを全市民向けにリニューアル、「電子回覧板」の導入など、町会・自治会のデジタル化推進の予算が計上されています。

全市民が本市や町会・自治会の情報を容易に取得でき、地域コミュニティに参加する市民が増えるよう、デジタル化の促進に期待すると共に、デジタル化に対応できない方にも、丁寧な対応を願います。

また、窓口利用状況調査業務と、書かない窓口システム関係経費につきましては、来庁者へのサービス向上や負担軽減とともに、職務の効率化が図られることで生産性の向上を期待しています。

さらに、犯罪抑止の一助を担う市民参加型街頭防犯ネットワークカメラのサーバーが、現在、通信方式の主流となっているIPバージョン6にバージョンアップされるとのこと。市民の安全安心な暮らしを守る取り組みとして、より多くの方が参加しやすい環境が整ったことで、更なる犯罪抑止につながることを期待します。

また、いじめ相談の窓口を学校現場だけに留めず、市長事務部局にも設置、LINEを活用した相談支援の取り組みを始めております。未来を担う子どもたちに寄り添う取り組みを引き続きお願いいたします。

次に、民生費であります。

社会構造や家族構成の変化により、子どもや高齢者を取り巻く環境が急速に変化している中で、必要な支援も多様化しております。

そうした中、ヤングケアラー支援では、相談体制を強化する取り組みとして、相談レターを配布して相談するきっかけを作るなど、課題解決に向け職員自らが創意工夫を凝らしたこと高く評価させていただきます。

また、児童虐待を早期に発見する取り組みとして、子育て世帯訪問支援業務では、1件の疑いがある事案に対応されたとのこと。引き続き周囲からの孤立や虐待リスクを未然に防ぐ取り組みに期待しています。

高齢者支援として、老人クラブ育成指導事業では、クラブ数及び会員数の減少が喫緊の課題となる中、Eスポーツ体験会に参加するなど、新規会員増強に向けた取り組みを伺いました。孤立をしない、させないための積極的な取り組みを要望いたします。

女性のためのつながりサポート業務では、女性のための居場所事業「野の花カフェ」を年9回から年12回、毎月1回開催に増やすとのことですが、毎回多くの参加者があり、交流が生まれていると聞いております。今後も困難や不安を抱える女性を支援するよう取り組んでいただくとともに、より周知が図られるよう期待しています。

生活困窮者や生活困窮世帯に対しては、生活保護に至る前の相談支援業務や負の連鎖を断ち切るための学習支援業務など、自立した生活を促進する、社会を支える基盤ともいえる、いくつもの取り組みについて、引き続きご尽力いただけるようお願いいたします。

次に、衛生費であります。

新焼却施設の建設に伴う土壌汚染調査業務委託料などの予算が計上されましたが、現状、可燃ごみの処理を市外にお願いしている状況であり、昨年11月の市川市クリーンセンターの事故など、不測の事態により、ごみが搬出できなくなった場合なども想定されるため、目指している令和16年度からの稼働が決して遅れることのないよう強く要望をし、今後もしっかりと注視して参ります。

次に、農林水産業費につきましては、高齢化と後継者不足に伴う耕作放棄地は国においても本市にとっても、なかなか解決に至らない長年の課題となっております。新年度予算では、後継者育成支援に関して、ニーズを把握するためのアンケート調査を実施す

るほか、新規の補助金の導入を創設していただきましたが、資材や燃料など物価高騰の中、農林政策への更なるご努力をお願いいたします。

次に、商工費であります。

商店会及び会員の減少により、灯りが消滅している街路灯が多く見受けられるようになり、撤去費の補助率が増加されましたが、中小企業支援やにぎわい創出にかかわる事業は、街の活性化の取り組みとして意義のある事業となりますので、積極的に取り組んでいただくとともに、引き続き企業誘致の促進などにご尽力いただきますようお願いいたします。

労働費、農林水産業費並びに商工費につきましては、総務費、民生費に比べると予算規模的には見劣りがするかもしれませんが、総務費も民生費も、その原資は市民の経済活動による税金によって成り立っております。言わずもがな、雇用や新たな価値を生み出し、税収が生み出されなければ、これらの事業は成り立たない重要な業務の数々と認識しておりますので、職員の皆さまの創意工夫には大いに期待しております。

次に、土木費であります。

まず、令和5年5月の臨時会で否決をいたしました。新拠点ゾーンまちづくり用地取得業務についてです。会派・市民クラブとして本会議の討論で4点の反対理由を述べさせていただきましたが、敷地面積の狭さにつきましては、現本庁舎のうち別館と議会棟を引き続き使用し、さらに新拠点ゾーン内の敷地を活用することで解消が図られ、周辺環境につきましては、S字道路の拡幅とS字道路坂下交差点の改良を行うこと、また、駅前の活性化につきましては、松戸駅周辺のイベント会場やパブリックビューイング会場等へ活用するなど、閉庁日でも気軽に市役所を訪れる工夫をされることで、3点についての課題解決を確認いたしました。公共施設再編及び市の業務、組織体制の見直しにつきましては第2ステップとして検討していくことですので、来庁者、市職員の安全のためにも一日も早い新庁舎の建設が望まれる中、本市としても最重要課題として取り組んできたことから、しっかりと推進していただくことを強く要望しまして賛成といたします。なお、地元住民や団体への説明につきましては、引き続き丁寧な対応をと願います。

常盤平地域まちづくり検討委託料については、常盤平地域の再開発に向け地域の街づくり方針を早期に策定していただくよう要望いたします。その上で、総合政策部や街づくり部が協力して、ハード面での取り組みに邁進していただくことを期待しております。

また、交通政策に関しましては交通計画費として、交通バリアフリー推進事業、自転車駐車場キャッシュレス決済対応システム等導入経費、自動運転実証調査委託料、地域公共交通計画策定調査委託料など、今予算に多くの新規事業が計上されておりますが、交通政策への取り組みが大きく前進していくことを期待しております。

次に、消防費につきましては、長年の課題でありました二十世紀が丘消防署の建て替えに向けての実施設計をはじめ、スマートフォンを利用した119番映像通報システムの導入や、救急出動件数の平準化に伴う救急車両の配置とそれに伴う増隊などの予算が計上されましたが、二十世紀が丘消防署の建て替え期間中に関しましては、その機能が低下することのないよう細心の注意を払い、引き続き市民の命と財産を守るための活動に期待しております。

次に、教育費であります。

まず、美術文化関係事業、マイセン磁器保管委託につきまして、令和5年度当初予算におきましては、展示ギャラリーの整備に反対として修正案を提出し、修正案が可決となった経緯があります。

多くの松戸市ゆかりの優れた所蔵美術品が常設展示されていない状況の上に、常設展示の場所が、利用者が少ないため事業者が撤退した森のホール21内の喫茶店のあった場所であったことから、集客に関して疑義が残ったため反対をいたしました。そもそも寄付をいただく事に異議を唱えている訳ではありません。今回計上された予算では、常設展ではなく、期間が限定された企画展であること、会場も戸定歴史館に変更して集客を狙うこと、また、入場料を徴収し歳入を見込むなど、改善が見受けられましたので、賛成とさせていただきます。

なお、美術的にも学術的にも価値の高いものなのであれば、文化に触れ、教養を高められるよう、より多くの市民に鑑賞してもらう環境を整えるなど、その価値に相応しい扱いをしていただくよう求めます。今後の取り扱いについてですが、例えば市内での展示にこだわらず、民間業者などにも所蔵を広く告知し、有料で貸し出すなど、収益につながる取り組みも考えていただくなど、宝の持ち腐れにならないよう要望いたします。

旧根木内東小学校スポーツ施設整備基本設計委託料につきましては、まずしっかりと地域住民への説明会等を行い、地域住民の理解のもと進めていただきたいと思います。加えて質疑の中でも触れました、小学生用8人制サッカーのラインも含めて、子供たちをはじめ、市民から愛される、幅広く市民が利用できる施設整備を行い、松戸市のスポーツ振興が図られることを期待しております。

す。

学校教育におきましては、子どもたちが安全に学校生活を送り、自らの力で生きていく力を養い、夢を持って社会に出て活躍するために、職員の皆さまの創意工夫とご努力により、自立に向けてのさまざまな取り組みがされており、ICT支援員派遣委託料の増額など、将来、必要不可欠となる情報リテラシーを身につけるための予算が計上されており、生きていく手段として益々ICTの活用に期待しているところです。

さらに、小学校管理運営事業では、小学校6校で行っている地域人材を活用した校内の施設管理に、朝の業務時間も加えて、児童の安全確保に努める取り組みですが、夫婦共働き世帯の増加など家族構成の変化に伴い、保護者の心配や要望も多い事業ですので、他の小学校への導入など適切な対応をお願いいたします。

次に、新設される文化スポーツ部についてです。

だれもが成長し続けていくための教養や体力づくりへの取り組みなど、文化やスポーツに期待される役割が教育分野に留まらず広域的になっている中、これまで教育委員会で所管していた文化とスポーツを、市長事務部局に組み入れることで、プロスポーツの誘致や健康づくり、文化・スポーツを通じた地域コミュニティなど、更なる促進につながることを期待しております。

特にプロスポーツの誘致に関しましては、本市の立地の良さを生かしつつ、未来につながるまちづくりに貢献できる夢のある事業と考えます。経済効果が大いに期待できる面からも積極的に検討していただき、松戸市に住んで良かったと思える施策を展開していただきますよう強く要望いたします。

次に、これらの事業を実施するための財源となる歳入についてであります。

市税は、国の施策の影響により、前年度比約10億円減の712億500万円を見込んだとのことでございますが、引き続き、市税収入の確保に努めていただきますようお願いいたします。

委員会中、何点か質疑をさせていただきましたが、とりわけ市債に関して、新拠点ゾーンのまちづくりや焼却施設建設など、大規模事業が控えておりますが、街のリニューアルのための積極的な投資を行えば将来的な税収増につながるという執行部のお考えを確認することができました。計らずとも委員会3日目に日銀によるマイナス金利の解除などが発表されました。今後の起債や償還額に大きく影響してくることも鑑み、各事業の取捨選択を正確に行い、引き続きの適正な財政運営に努めていただきますようお願いいたします。

以上、一般会計につきまして、指摘等を含め、賛同する趣旨を述べてまいりました。

討論時間の関係から詳細は割愛いたしますが、特別会計、企業会計についても同じく賛同いたします。それぞれの会計における特定の歳入により事業運営をするという特別会計、企業会計の設置目的に従い、引き続きご努力をお願いするとともに、今後も、一般会計からの繰入金及び負担金等になるべく依存しない体質強化に努めていただきますようお願いいたします。

以上、本定例会に提案され、予算審査特別委員会に付託を受けた議案第 64 号、令和 6 年度松戸市一般会計予算から議案第 75 号、令和 6 年度松戸市下水道事業会計予算までの 12 議案全てに賛成いたします。

代表質問でもお伝えしましたが、混迷を深める社会情勢だからこそ、理事者・議会としっかり議論し、車の両輪として責任を共有したうえで、共に市政を前に進めていくことの重要性はますます高まっています。

理事者の皆様にはそのことを心に留め置き、ぜひ、質疑の過程における要望・意見等をお酌み取りいただき、今後の市政運営に生かしていただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、予算審査に当たり、理事者の皆様の丁寧な御答弁、御対応に改めて感謝を申し上げますとともに、市民生活を守り、本市発展のため、誠実で確実な本市職員の日ごろの事業執行に敬意を表し、会派市民クラブを代表しての討論を終わらせていただきます。ありがとうございました。